

10月例会 毛無山(1218m)、白馬山(1060m) 新庄村

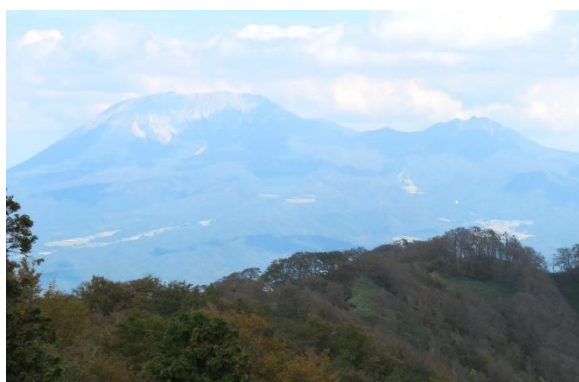
実施日 令和3年10月8日(金)

天候 晴れ

参加者 CL 山本^廣 SL 佐古 SL 梶原 SL 高井
船越 角原 佐々木 近藤^嗣 近藤^浩 西崎 藤川^神 永谷 前田 神山 小林^東 秋山
野田 畑 (合計18名)

行程 ビジターセンター集合 開会行事(9:05~9:15) → 登山口(9:30) → 4合目(10:00) →
6合目(10:25) → 9合目・山小屋(11:00) → 毛無山山頂(11:20) → 昼食(11:20~11:50)
→ 白馬山(13:00) → ビジターセンター到着(14:15) 体操、閉会行事、解散(14:30)

概要 現地集合で18名が参加。コロナ自粛で中々例会山行が出来なくて、6カ月ぶりに皆さんと一緒にの山行であったが、最高の登山日和となった。開会行事が終わり、ビジターセンターの山の家の前ではナナカマドが赤い実をつけ出迎えてくれる。登山口までの間に、ツリフネソウやオタカラコウや赤い実をつけたマムシグサが見られた。少しの急登もあったが、6合目まではゆっくり登った。このあたりからブナの純林が広がる。この大木が何百年の間森を守り、登山者を見つめてきたのだろうかと思ひながら登る。茶色い落葉がブナ枯れではないのかと少し不安もよぎった。ブナの木の灰色の木肌は変わらず、木々の間から吹いてくるやさしい風は元気を与えてくれる。山頂では眺望もよく、大山や烏ヶ山も見え、360度の景色が楽しめた。他の登山者も多く、昼食をすませ、白馬山に向けて緩やかなアップダウンを歩く。白馬山ではオカリナを演奏する登山者についてきたアサギマダダラに出会い、みんな感激した。ここからの下山は足元に気を配りながら、それぞれに会話を楽しみ、親睦を深めながら降りていくことができた。久々の例会は楽しい一日であった。(高井 記)



シュスラン



ミヤマキケマン